

麻酔科

(スタッフ)

部長 : 宇野 太啓
 副部長 : 油布 克巳
 : 木田 景子
 : 金ヶ江 政賢
 : 西田 太一
 : 甲斐 真也 (2020. 4月から)

後期研修医 : 庄 聡史 (2020. 3月まで)

(診療実績)

麻酔科管理症例数は2,464件で、前年2,671件より207件の減少となりました。新型コロナウイルス感染症流行による手術件数減少が原因と思われます。

麻酔科管理症例の内訳は、全身麻酔2,461例、全身麻酔以外3例でした。麻酔法の内訳は表1のとおりです。麻酔科管理症例のうち予定手術（締め切り後も含む）は2,196例、緊急手術は268例でした。緊急手術の全麻酔科管理症例に占める割合は前年(11.7%)より少し減少して10.9%となっております。

特殊手術については、心・血管手術が42例、新生児手術18例、食道がん手術4例、開頭手術36例、脊椎手術48例、胸腔・縦隔手術115例でした。人工心肺を用いたものは32例、分離肺換気を行ったものは110例でした。2020年12月からは精神科の電気痙攣療法が始まり、2020年は延べ2例でした。表2に麻酔科管理症例の重症度別内訳を示します。ASA-PS 3以上の重症例は18.4%であり、前年15.6%より増加しています。

ICU管理に関してはICU部のページ(P.72)で示します。

ペインクリニックに関しては、外来診療は行っていませんが、院内での疼痛管理の相談には応じています。

(今後の方向性)

2020年は4月より麻酔標榜医6人体制になり、当直明けの半日休が可能になりました。一方、長年麻酔の応援で来ていただいていた松川美樹先生は2020年12月末でお辞めになりました。この場をお借りして、長年の応援に感謝いたします。2021年1月からは、週1回火曜日に大学病院から麻酔の応援を受けることになりました。

重篤な合併症のある患者でも、注意深い麻酔管理とICUでの絶妙な術後管理で無事手術を完遂させて、

患者に信頼される病院になるよう貢献します。

外科系の各科が予定手術はもちろん、緊急手術もストレスなく行えるような環境を整えます。

救急救命士の挿管実習病院として大分の救急のレベルアップに貢献します。

多くの研修医に麻酔科の仕事に興味をもってもらい、後期研修に麻酔科が選ばれるように努力します。

(文責：宇野太啓)

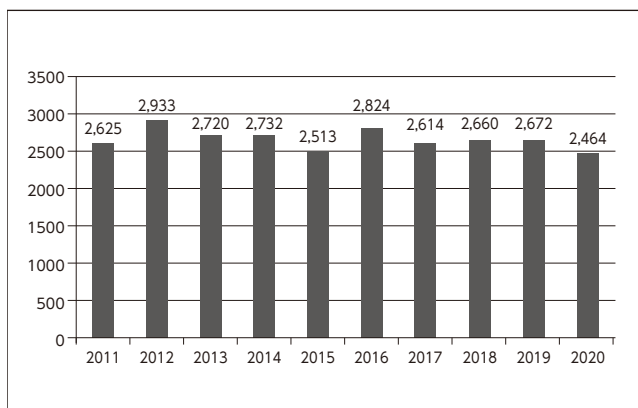


図1 麻酔科管理件数の推移

表1 麻酔法内訳 (件数)

| 麻酔法 | 2019年 | 2020年 |
|-------------------|-------|-------|
| 全身麻酔(吸入) | 1,988 | 1,751 |
| 全身麻酔(TIVA) | 14 | 75 |
| 全身麻酔(吸入)+硬・脊、伝麻 | 658 | 591 |
| 全身麻酔(TIVA)+硬・脊、伝麻 | 0 | 44 |
| 脊椎・硬膜外併用麻酔(CSEA) | 4 | 2 |
| 硬膜外麻酔 | 1 | 0 |
| 脊椎麻酔 | 5 | 1 |
| その他 | 1 | 0 |
| 計 | 2,671 | 2,464 |

表2 重症度別麻酔科管理症例 ()内は2019年の数値 (単位: 件)

| ASA-PS | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|--------|--------------|------------------|--------------|-----------|----------|----------|
| 予定 | 573 (579) | 1,250 (1,482) | 373 (297) | 0 (2) | 0 (0) | 0 (0) |
| 緊急 | 70 (69) | 118 (124) | 73 (111) | 7 (8) | 0 (0) | 0 (0) |
| 計 | 643 (648) | 1,368 (1,606) | 446 (408) | 7 (10) | 0 (0) | 0 (0) |